

環境活動報告

(2020年4月～2021年3月)

地球温暖化防止 (CO₂ 排出削減) に関する取り組み

◆地球温暖化防止自主行動計画

- ①常に、前年度よりも温室効果ガス (CO₂) の総量削減を目指し、排出数値管理や運用取り組みを行います。
- ②パルシステムグループの一員として、パルシステムグループ温室効果ガス削減計画に参加し、グループ全体で目標達成に取り組みます。
目標：2030年までに、2013年比で26%以上削減
- ③地域性・独自性などの特色ある取り組みにより、地域・組合員またパルシステムグループ、社会全体での温暖化防止・環境取り組みの推進に貢献していきます。

パルシステム山梨では2009年8月に地球温暖化防止自主行動計画を策定し、二酸化炭素排出量の総量削減に向けた取り組みを進めてきました。計画の検証・見直し、またパルシステムグループとしての計画変更に関連した変更を行い、現在の計画となっています(2019年11月)。また「山梨県地球温暖化対策条例施行規則」に基づく温室効果ガス排出抑制計画への参加(トライアル事業者として)も行っています。

【参考：パルシステムグループ温室効果ガス削減計画 要旨】

- (1)パルシステムグループの事業活動に伴うエネルギー起源 CO₂ 排出総量を2030年度までに2013年度比で26%以上削減(会員生協総事業高合計1億円当たり排出量は40%削減)します
- (2)サプライチェーン全体での温室効果ガス削減を推進します
- (3)環境保全型の農林水産業と自然環境保全を推進します
- (4)組合員家庭の省エネルギー化を促します
- (5)再生可能エネルギーを広げます

2020年度の取り組み結果は以下のようになりました。

二酸化炭素排出量(電気・燃料・施設ガス)	709,724kg-CO ₂
自主取り組みによるCO ₂ 削減量	△282kg-CO ₂
合計	709,442kg-CO ₂

※電気のCO₂換算係数には、2019年度排出係数(パルシステム電力0.366、東電0.457)を使用

2020年度の二酸化炭素排出量は前年比で約118.5%と増加しました。

主な要因は、電気使用量の増加と電力のCO₂換算係数になります。

電力使用量は、前年比で144.3%と増加しました。コロナ対策の換気のため、夏・冬の冷暖房での使用増が考えられます。また2020年3月に稼働した甲斐センターでは、ドライアイス削減のため『冷凍蓄冷材』を導入しており、この凍結庫の電気使用の影響もあります。甲斐センターは電気使用量で全体の60%を占めますが、新築の関係で東京電力であったこと、またパルシステムグループの子会社「パルシステム電力」は、FIT電源(再生可能エネルギー)を中心とした電気ですが、市場調達等で係数が高めとなったことが影響しました。

配送等での燃料使用は、コロナ禍での利用増加もありますが、100.9%と若干の増加でした。

当生協の電力の契約状況は下記の通りとなっています。

	2020年度	備考
パルシステム電力	一宮センター、西桂センター、本部事務所(20年6月～)	甲斐センターは21年4月～パルシステム電力へ切り替えました。
東京電力	甲斐センター、ばるはび、本部事務所(～20年5月)	
中部電力	諏訪拡大事務所	



◆2020 年度 太陽光発電実績

発電実績は下記のとおりです。冷夏・台風などの悪天候で発電量は減少しました。

	甲斐C	一宮C	西桂C	合計
公称最大出力 (kw)	21.84	3	52.3	77.14
発電量 (kWh)	26,789	4,176	59,230	90,195
売電量 (kWh)	—	—	46,526	46,526
CO2削減量 (kg-CO2)	12,243	1,528	21,678	35,449

※電気のCO₂換算係数は、事業所の使用電力を考慮し、甲斐C:0.457、一宮・西桂Cは0.366を使用しました。

※CO₂削減量は自家消費分のみです。(西桂Cの発電量は全量売電42.3kWと、自家消費10kWを加算した量)

事業所での取り組み

2020 年度はコロナ禍での宅配事業の急激な慎重、職場での感染予防対策など重点的に取り組むため、回収率等の目標化や、緑のカーテン取り組み、環境社会検定試験 (eco 検定) 受験などは見合わせました。

◆ パブリックコメント・団体署名の提出

5 月「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略 (仮称) (案)」に対し、現在及び未来の世代の生活者誰もが持続可能で安心なエネルギーを享受し続けられるよう、パブリックコメントを提出しました。

また同月、「原発ゼロ基本法案の早期審議入りを求める団体署名」も行いました。

◆課題推進チーム「環境」取り組み

2020 年度、組合員 5 名・役職員 4 名で課題推進チーム「環境」では、『くらしから水を考えよう』をテーマに活動を立ち上げました。しかし、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、初めての会議も 7 月に延び、その後も集合開催を中止などしたため、おうちで学ぼう！として、テーマに沿ったおすすめサイトを紹介しました。

10 月・11 月は「石けん」「マイクロプラスチック」とそれぞれの外部講師と集合した会議室をオンラインでつなぐ形での内部学習を行いました。12 月からはコロナ対策で、組合員メンバーさんはそれぞれ自宅から、オンラインでつなぐ形の会議開催に切り替えました。そんな中で 1 月はパルシステムの商品産地でもある「北海道・野付」の海につながる森づくりの取り組みについて動画も共有しながら学習をし、最後には取り組みをまとめた通信を発行しました。

十分に学習や意見交換、情報発信の取り組みはできませんでしたが、コロナ禍での取り組みを模索しました。



内部学習の様子 (講師 3 名とオンライン)

プラスチック (ごみ) 削減に関する取り組み

◆パルシステムグループのプラスチック削減取り組み

パルシステムグループでは、2017 年度より独自にプラスチックの排出総量を削減する取り組みを進めています。商品包材に多く使われるプラスチックについて、商品の品質保持性能を保ちつつ、軽量化等での削減、環境負荷の少ない材質への切り替え、回収の強化などを進めています。また 2019 年 5 月にメーカー等団体と「プラスチック削減プロジェクト」を立ち上げ、情報共有を強化しています。

「富士の天然水」は再生 PET100% のボトルで、さらにラベルレスにしてプラ削減と回収の手間も省いています。また、一部のパックジュースは紙ストローに切り替えるなど、具体的な商品に、反映されてきています。

エネルギー政策推進に関する取り組み

パルシステムグループでは東日本大震災に伴い発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、2012年1月「パルシステムのエネルギー政策」を定め、グループ全体で取り組みを進めています。

- ・「減らす」節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らします。
- ・「止める」速やかに脱原発を実現します。
- ・「切り替える」原発への依存に替えて、再生可能エネルギーを急速に普及させます。

パルシステムは「協同の力」で生活者がエネルギーを選択できる社会を実現します。

◆「パルシステムでんき」の推進

パルシステムグループの子会社による「パルシステムでんき」の契約受付は、2016年11月より始まり、2020年度末で1,504件の契約数となりました。（グループ全体では42,74件）

その他の活動・諸団体との連携

◆田んぼの生き物観察～五町田エコロじい田んぼ塾

コロナ禍で年間を通じての、米作り体験企画は見合わせました。

◆エコドライブ運動

1998年より、環境にやさしい運転を心がける運動に取り組んでいます。積み下ろしや駐停車時のエンジンオフ、キーチェーンの徹底、アイドリングストップに加え、「ふんわり発進」「早めのブレーキ」など、燃費に加え安全運転にもつながる運動として取り組んでいます。

◆環境バイザー・出前講座

昨年はコロナ禍で、環境関連の出前講座もほとんど行えませんでした。リモートで紙すき体験を2件ほど行いました。

◆環境パートナーシップやまなし

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2020」に協賛し、パルシステム山梨も賞を設けました。

◆「やまなしクールチョイス県民運動」へ参加

山梨県の「やまなしクールチョイス県民運動」（「エコライフ県民運動」と「省エネ県民運動」を統合拡充したもの）に事業者としてクールチョイスサポーター登録をしています。

◆第22回ライトダウンやまなし2020

2020年11月に実施された「ライトダウンやまなし」に、引き続き実行委員会へ参加し、消灯呼びかけやイベントの実施に協力しました。

◆広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト

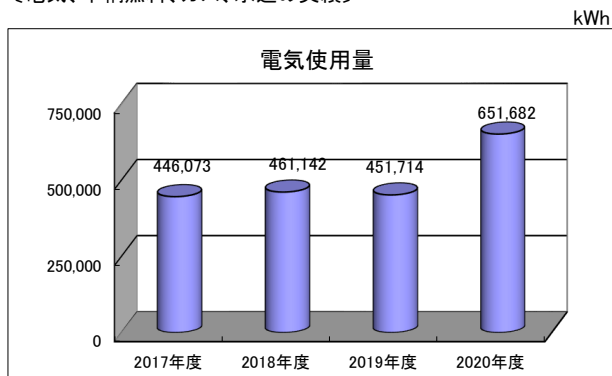
甲府市小瀬のスタジアムを“環境山梨”のシンボルに、と活動する実行委員会へ参加しています。

◆各種会議への参加

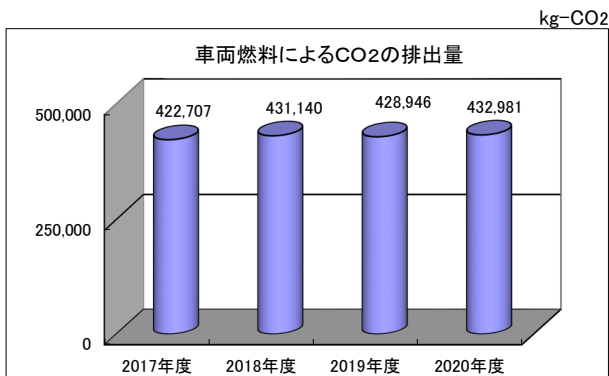
甲府市温暖化対策地域協議会、中央市温暖化対策地域協議会、やまなし木質バイオマス協議会等に参加しています。

2020年度電気、車両燃料、ガス、水道の実績

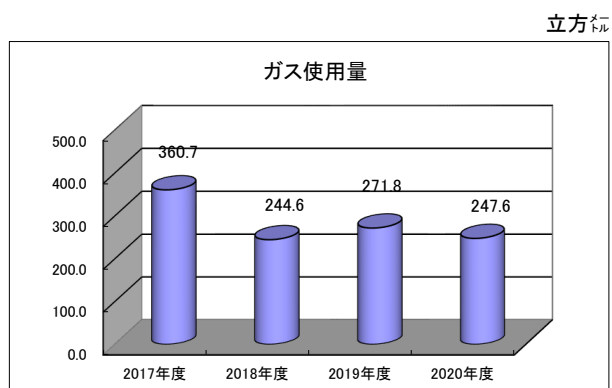
[電気、車輛燃料、ガス、水道の実績]



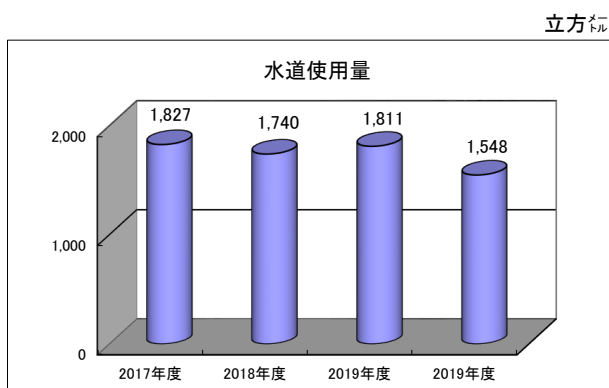
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
446,073	461,142	451,714	651,682



2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
422,707	431,140	428,946	432,981

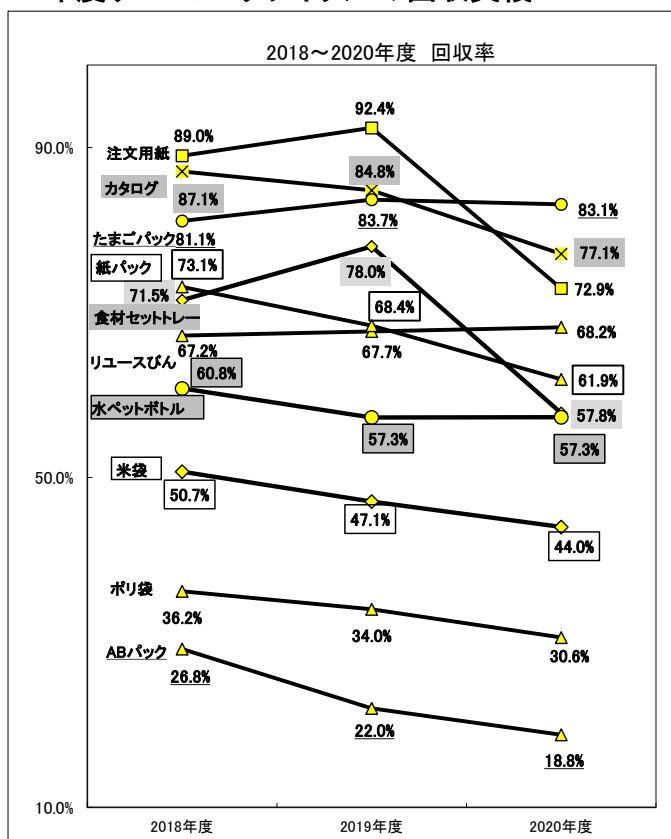


2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
360.7	244.6	271.8	247.6



2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
1,827	1,740	1,811	1,548

2020年度リユース・リサイクルの回収実績



2018~2020年度回収率

	2018年度	2019年度	2020年度
リユースびん	67.2%	67.7%	68.2%
紙(牛乳)パック	73.1%	68.4%	61.9%
ABパック	29.2%	22.0%	18.8%
商品案内(カタログ)	87.1%	84.8%	77.1%
注文用紙	89.0%	92.4%	72.9%
ポリ袋	36.2%	34.0%	30.6%
たまごパック	81.1%	83.7%	83.1%
食材セットトレイ	71.5%	78.0%	57.8%
米袋	50.7%	47.1%	44.0%
水ペットボトル	60.8%	57.3%	57.3%

リユース・リサイクルにおける行政費用の削減効果(推計)

	kg	円
リユースびん	25,596	1,216,173
紙(牛乳)パック	14,821	704,195
ABパック	2,778	131,992
カタログ	522,631	24,831,937
注文用紙	10,967	521,079
ポリ袋	13,321	632,925
たまごパック	19,208	912,636
食材トレイ	2,377	112,925
米袋	955	45,385
水ペットボトル	3,187	151,425
合計		29,260,671

パルスシステム山梨で組合員さんから回収したリユース・リサイクル容器や包材の回収重量をあわせて、行政で一般廃棄物として処理した場合の費用を掲載しています。自前でリユース・リサイクルすることで、行政の廃棄物処理に関連する費用のうち、2020年度は約2,926万円相当を削減した、と推計されます。

※山梨全体での、ごみ処理用に対するごみ処理費用(推計)は、47.51円/kg
(参考資料:環境省HP 一般廃棄物処理実態調査結果 令和元年度調査より)